

はばたけ ～未来のナースたち～

高校生1日看護師体験

耳原総合病院 看護学生担当 コタニ トモ ツクシ メグミ **小谷 朋・筑紫 愛**

耳原総合病院では、毎年春と夏に高校生1日看護師体験を実施しています。高校生が看護師体験を通して自身の進路に役立てて頂く企画です。当院にとっても、体験者が何年か後に病院の看護師の仲間になってくだされば何よりうれしいことです。

今年の夏も各高校から約300人の応募を頂きました。体験では、まず白衣に着替えます。その後、病院の紹介や体験の注意事項を話します。病棟を中心に見学を行い、いざ病棟体験へ。

病棟では、病棟の特徴を聞き、血圧測定、車いすやストレッチャーに乗ったり、手浴、足浴、赤ちゃん人形を抱っこなどを行います。患者さんのご協力を頂くこともあります。高校生と撮った写真を病室に飾ってくださる方もおられます。お昼前に体験を終えて、看護師と交流会を行っています。体験の感想を出し合ったり、看護師のやりがいについて現職看護師に質問を出してもらい、さらに看護師のイメージを膨らませているようです。

高校生の感想を紹介します

「実際に体験してみて、ドラマとかで見るのとは違っていました。けど、やりがいのある仕事だということもわかりました」(1年生)

「患者さんと話して、もっとコミュニケーションをとりたいと思いました」(2年生)

「看護するのは看護師側の目線でみることより、患者さんの目線でみることがとても大切なことなんだと思いました。忙しくても患者さんと接するのは、とても丁寧で忙しそうに見えないくらいで、スゴイと思いました」(3年生)

「車いすの体験をしたのですが、曲がったり、段差があるときの声かけなど実際に乗ってみて大切だということがわかりました」(3年生)

以上のように、初めての体験でたくさんの気づきを持っています。体験に来られる高校生は、低学年では進路を決めかねている様子です。しかし、3年生にもなると進路をはっきり決めて意欲的です。体験のリピーターもあり、多くて3回も来られ、血圧測定もできるようになる高校生もいます。



看護師からレクチャーを受けている学生

後日、体験者に高校を通じて記念写真と看護師からのメッセージをお渡しします。受け取った高校生から喜びの声が寄せられています。看護師を目指して受験勉強をする決意に結びつき、勉強机の前に飾っているとのお話も寄せられます。

現場の看護師たちは、業務の中で体験担当を決め対応しています。大変な中ですが、私たち病院の看護を伝え後輩を育てる思いで取り組んでいます。



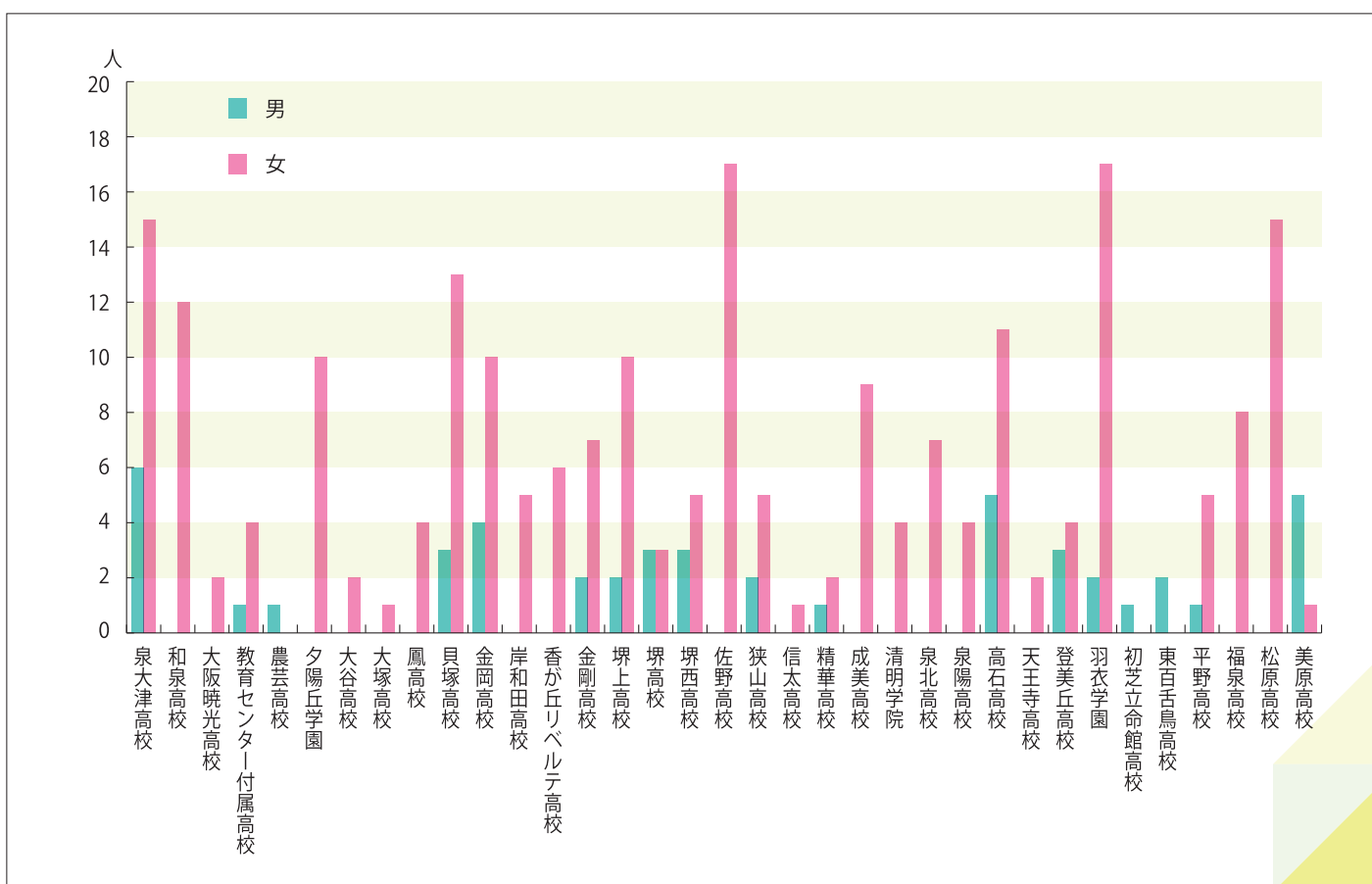
看護師からのレクチャー後、自分たちで測定に挑戦



看護師との交流



2013年夏 高校生1日看護師体験 参加状況



専門的な看護の実践・指導・相談を 活発に活動していきたい

副総看護師長
シマダ マリコ
嶋田 真理子



地域の皆様、開業医の先生方には大変お世話になってい

ます。ベッドコントロールを担当しています副総看護師長の嶋田真理子と申します。

無差別・平等の医療を進めていく中で、特に患者様の生活状況がますます厳しくなっていると感じております。高齢者で一人暮らしの方、認知症の方、若年層でも様々な問題を抱えた方、一人おひとりに対してできる限りの医療・看護を提供したいと日々努力をしていますが、今の医療制度では、困難に直面することが多々あります。誰もが安心

して療養生活ができることが必要だと強く感じております。

さらに、さまざまな合併症をお待ちになった高齢者の患者様の退院に向けての対応も苦慮しています。そのことも含めて地域の先生方からの入院依頼にも全て応えきれていない状況ではありますが、患者様・地域の皆様にとっての最後の砦としての役割が果たせるよう今後も努力してまいります。地域の方々の健康をまもるため、また命をまもるため、地域の医療機関の皆様と手を携えることができればと思います。今後ともよろしく申し上げます。

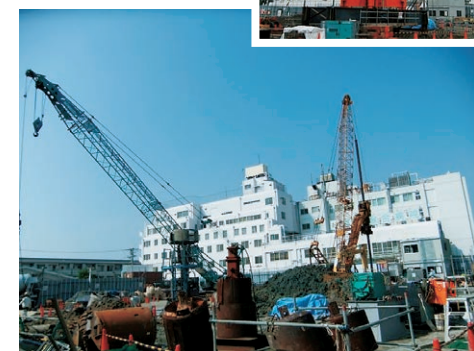
新病院建設ニュース

新病院建設本格化&新病院外観決定

新病院建設順調です！

タワークレーン運転開始！

新病院建設工事も本格化してまいりました。新病院は14階建ての高層建築になるため、タワークレーンを設置します。10月中旬から組み立て開始、同月下旬より運転開始です。



新病院の外観、決定！

～地域にゆかりのあるケヤキの木をモチーフに～

新病院の外観決定！新病院の外観やホスピタルアートについて、検討会やアンケートなど行ってきました。検討会にご参加いただきましたみなさん、アンケートにご協力いただきましたみなさん、貴重なご意見ありがとうございました。お寄せ頂きましたご意見や堺市の景観アドバイザーの先生方の助言等も受け、地域に緑のあるケヤキの木(※この木を中心にこの地域のまちづくりがはじまったといわれています)をモチーフにしたデザインを「協同の壁」に描くことに決定しました。コンセプト・構成・デザインは、当院のアートディレクターである室野愛子氏によるものです。乞うご期待ください。

